

関東



関東の景況は、住宅建築が減少傾向、輸出が弱含んだものの、個人消費が持ち直し、公共工事が上向くなど、回復。

個人消費は、乗用車販売が減少し、飲食料品や衣料品を中心に大型小売店販売が伸び悩んだものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加するなど、持ち直し。住宅建築は、持家、分譲住宅が増加したものの、貸家が減少するなど、減少傾向。設備投資は、製造業を中心に投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、市町村が減少したものの、国、独立行政法人等、都県が増加するなど、上向き。輸出は、荷役機械、原動機が増加したものの、半導体等製造装置、自動車が増加するなど、弱含み。

生産活動は、石油製品、輸送機械が増加したものの、食料品、一般機械が減少するなど、足踏み。観光は、外国人の宿泊客が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
		↓			↓			